



川口の教育



【令和4年度埼玉県優秀な教職員表彰報告会 11月29日（火）川口市教育委員会】

後列：川口市立元郷小学校 荻野 恵美 事務主幹

前列左：川口市立戸塚中学校 川俣 泰幸 教諭 前列右：川口市立鳩ヶ谷小学校 堀 祥子 教諭

第643号

【目次】

- 指導の手引き 図画工作科・美術科の授業づくりで大切にしたいこと
川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 笠原 たまき・・・(2)
- 私の教育実践 「学級活動におけるICTを活用した教育実践」
川口市立安行中学校 教諭 関 卓朗・・・(3)
- 教育ルポ
・・・(4)
- 第80回 川口市少年少女ふれあいなわとび大会（チャレンジ大会）結果
・・・(5・6)

12 月号

—令和4年—

編集・発行 川口市教育委員会

図画工作科・美術科の授業づくりで大切にしたいこと

川口市教育局学校教育指導課 指導主事 笠原 たまき

はじめに

教科の目標を端的に表すと、子どもたちが**自分のイメージをもち、新しい意味や価値をつくりだす**ことができるかということである。子どもの感性に働きかける新しいイメージや価値との出会いが鍵となる。各校では、ICT端末を効果的に活用した授業展開が見られる。実践例を紹介しながら、以下、授業のポイントを示す。

1 教材研究について

(1) 目標に沿って、題材の良さを理解する。

材料や道具、時間や段取りを確認することは安全面上も大事である。しかし、子どもの資質や能力を高める目標達成には、その題材で考えさせたい事項を明確にし、発問や切り返し、子どもの反応を想定しておくことが優先である。子どもの気付きや意欲的な発言による授業の展開例として、小学校1年生の導入の様子を紹介する。

小学校低学年の目標
自分の感覚や行為を通して **気付く**とともに、
楽しく発想や構想をしたり表現や鑑賞をしたりすること

子どもたちに考えさせるための発問
「ペラペラな紙がどうやって立つと思う？」
「みんなならどうやって折る？」

子どもの反応
「折ったらどう？」
「こんな風にやったらきつと...」
「手形で」
「身振り手振りも、子どもが考えている姿」
「話し合いやすい」
「話し合いが明快、話し合いが活発」
「4人組」

モニター活用
形や見え方の変化に気付かせる提示の仕方
折る動作をさせる
拡大してみる
のぞきこめる
立てると360°見られるところがいいおもしろい！
「折って立てた紙の形を“見立てる”ことから、次の活動へつながる。」

「ほんとうに立つかな？」
「さっせくためてみたくなる！」
子どもの気持ちを高める導入

「折ったらどう？」
「こんな風にやったらきつと...」
「手形で」
「身振り手振りも、子どもが考えている姿」
「話し合いやすい」
「話し合いが明快、話し合いが活発」
「4人組」

「折って立てた紙の形を“見立てる”ことから、次の活動へつながる。」

「さっせくためてみたくなる！」
子どもの気持ちを高める導入

(2) 授業中の評価規準をもつ。

ねらいに合った作品や活動のイメージをもつことで、机間指導の際、対話により「～に気付けたね。」と具体的な評価ができ、子どもに自信をもたせることができる。

(1) の例では、友達と違う折り方や、頑丈な折り方、切込みの入れ方を工夫している等が考えられる。また、子どもは、紙が倒れたらその原因を探し、どうしたら立つか調整していくことで【思考力・判断力・表現力】とともに【知識・技能】を働かせる。初見は失敗している姿に見えても、時には、一步引いて経過を観察した方が、試行錯誤を見取れることもある。

2 自分の見方や感じ方を深める指導

見方・感じ方は、①他者と意見を交流させる中で気付く、②美術作品を意識して味わうことで、子ども自身の生活の中では出会わない表現や価値を得ることができる。【共通事項】の造形的な視点を話し合いの軸にすること、多様な価値観を受容する雰囲気づくりが重要である。

①他者と意見を交流させる。



その悩みは、**造形的な視点**での話し合いが必要だからです。造形的な視点とは、学習指導要領の【共通事項】直感的に対象を捉え、自分なりにイメージをもつことです。

例 小学校高学年
【共通事項】アの指導
・動き
・興行き
・バランス
・色の鮮やかさを捉えること

【共通事項】とは、知識として働く部分です。各学年の指導事項を意識させ、表現や鑑賞で実際に使いつながら理解できるようにします。



②美術作品を味わうことで気付く



子どもと大人では絵の楽しみ方が違います。様々な角度から作品を見て、感覚的に「自分は」こう感じる。「こう思う。」と、理由をつけて話せると理想的。教師も先入観を捨てて楽しみましょう。



鑑賞練習「アートカードを使って」
見て聞いて考えて話す
自分の感じたことを伝える言葉を増やす為にも、くりかえし話す
鑑賞ゲームは効果的です。
※造形的な視点も意識します。

3 ICT 端末の活用例

(1) 画像の大きさを拡大縮小してイメージを変える。

小学校3年生の題材『小さな自分のお気に入り』では、約5cmの人型を被写体にし、様々な場所を旅する。「小さな自分」をカメラに写すことで、日常に見えていたものや世界のイメージをより大きく変える画像ならではの面白さがある。



(2) 短時間でイメージを形や色で表現する。

3Dペイントは、幅広い学年で活用が可能である。

- ① 言葉や感情を、様々なパターンの色や線に表す。
- ② デザイン構成で、カラーージュをしたり、画像を加工したりして、アイデアを練る。
- ③ 透視図を描くために、3Dの基本形の画像を360度回し見て、各面の形を理解する。



おわりに

授業改善の成果は、子どもから多種多様な作品が生まれることである。子どもの発想が広がる授業が展開されることを願い、校内掲示物の前で、自然と鑑賞会がはじまる姿が見られることを期待している。楽しみながら、新しい題材の探究を積極的に行ってほしい。

「学級活動におけるICTを活用した教育実践」

川口市立安行中学校 教諭 関 卓朗



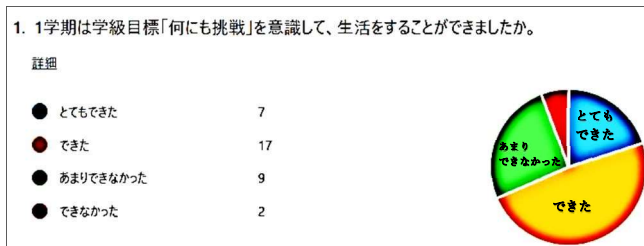
1 はじめに

GIGA スクール構想により1人1台端末が整備され、各教科においてICTの活用が進められている。特別活動においても例外ではなく、より良い合意形成を図る上でICTの活用は効果的である。そこで、今回は学級活動の内容(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」に焦点を当て、私自身の実践を踏まえたICTの活用の工夫について紹介する。

2 学級会の事前指導

学級会の事前指導をする際に、生徒一人一人にテーマについてのアンケートを取り、その集計結果を活用して課題を提示することがある。従来のやり方は、紙の学級会ノートに生徒が考えを記入し、学級活動委員(計画委員)が集計をしていた。GIGA スクール端末のFormsを活用することにより、アンケートの集計とアンケート結果のグラフ化を自動で行うことが可能となり、情報を生徒に分かりやすく可視化することができた(図1)。全生徒の意見を容易に共有することができることから、事前指導の効率化や持続的な活用につながると思う。

図1:事前アンケートの結果



3 全生徒が参加できる話し合いの工夫



自分の考えをもつことはできていても、全体場で発表することが苦手な生徒も多い。数名の生徒の

発表により合意形成が進んでいく授業から脱却するために、ICTを活用し、以下の方法で一人一人の考えの共有を図った。①「Microsoft Teams」上にあるExcelの共同編集機能を使う。②一つのシートに一人一人の入力欄を設け、意見を記入させる。③司会の生徒は全員分の意見が集約されたシートを手元のGIGAスクール端末に表示しながら、話し合いを計画的に進行する。また、生徒は話し合いの途中でも自分の意見を変更することができるため、すべての生徒が参加可能な話し合いとなった。 図2:Excelの共同編集

名前	方法	説明・理由	不安やその他
1	授業態度選手権	授業態度を評価する 授業のゆるい気などを改善するため	
2	自学まとめて貼り出しキャンペーン	ページ数を整理後、上位のみ紙に名前とページ数を代表者が記載する。	
3	エブリディー一問一言	毎日一問一言形式で入試問題を出す。 帰りの会で。	
4	studyすごろく	六点満点の小テストですごろくやる 勝負も学習も高みへ	
5	スモールティーチャーキャンペーン	帰りの会で誰かが勉強を教える 教えることによって考えが深まるから	
6	studyすごろく	六点満点の小テストですごろくやる 勝負も学習も高みへ	
7	週一の小テスト	得意教科の問題を出す 作成や解説も自分の勉強になるから	
8	週一問一言	入試問題を出す 楽しみながら努力できるから	

名前	方法	説明・理由
1	エブリディー一問一言	授業態度を評価する 授業のゆるい気などを改善するため
2	エブリディー一問一言	勉強で楽しむことができると思ったから
3	エブリディー一問一言	
4	studyすごろく	六点満点の小テストですごろくやる 勝負も学習も高みへ
5	エブリディー一問一言	帰りの会で誰かが勉強を教える 教えることによって考えが深まるから
6	studyすごろく	六点満点の小テストですごろくやる 勝負も学習も高みへ
7	週一の小テスト	得意教科の問題を出す 作成や解説も自分の勉強になるから
8	エブリディー一問一言「グループ」	帰りの会に入試問題を出す グループで楽しみながら努力できるから

一つの意見に賛成意見が集まり、少数派が納得したところで内容を決定する。

4 決定事項の実践までの準備

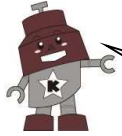
決定事項を実践するまでの進捗状況の確認にもExcelを使用することで、いつでも生徒自身が進捗状況を確認することができる。それにより、休み時間や放課後の時間を活用しながら効率的に準備を進めることができた。

役割	1学期まとめの会		
	名前	進捗率	クラスへの伝達
司会②		80	
開会宣言①		100	
閉会宣言①		100	
黒板装飾③		50	書いて欲しいものがあれば○まで。
教室装飾③		20	折り紙手配って!
道具準備④		30	トランプ持っている人は貸してください。

5 おわりに

ICTの活用により、全員の意見を容易に共有化できる一方で、従来の学級活動の良さが損なわれないようにすることも大切である。学級活動とICTのバランスの良い運用が、協働的な学びの新しい形につながると考える。今後もICTを積極的に活用することで、どのような効果が生まれるのかを検証し、実践を積み重ねていく。

教育ルポ

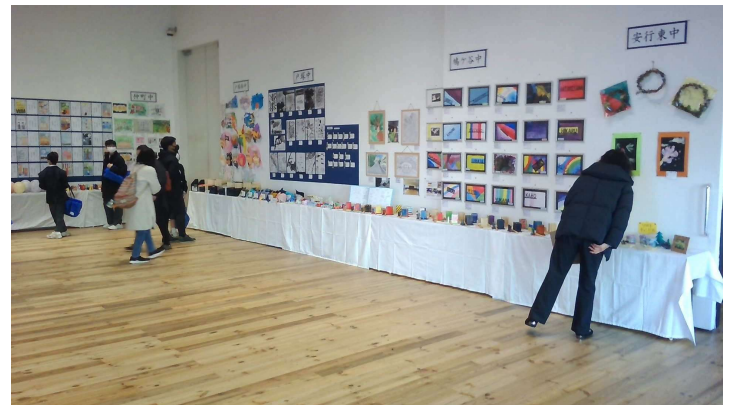
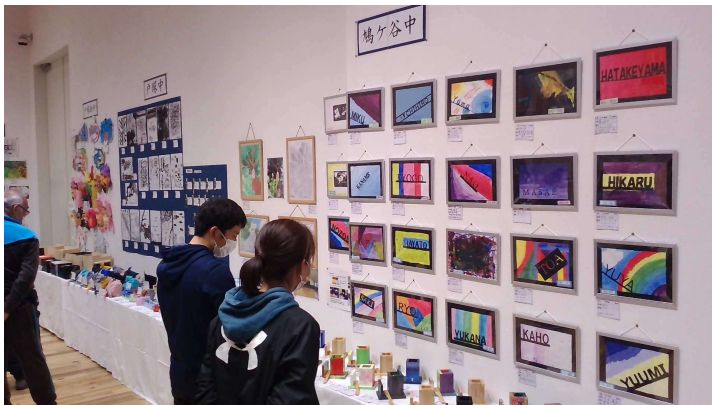


川口市マスコット「きゅぼらん」

★川口市内の子供たちが一生懸命取り組んだ作品展が開催されました。多くの方にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。

第55回 川口市特別支援学級合同作品展

(令和4年12月7日(水)～11日(日) 於：川口市立アートギャラリーアトリア)



第16回 川口こども造形展

(令和4年12月10日(土)・11日(日) 於：リリア)



第80回 川口市少年少女ふれあいなわとび大会（チャレンジ大会）結果 特別支援学級の部

期日：令和4年11月22日(火)

会場：各小学校

No	種 目	ブロック	順位	氏 名	小学校名	記録	ブロック	順位	氏 名	小学校名	記録		
1	あ や と び (1・2・3年生)	A	1位	小 林 空 夢	朝日東	179	C	1位		戸 塚	70		
			2位	荒 木 優 成	戸塚綾瀬	48		2位	荻 原 遥 真	戸 塚	54		
			3位	池 田 圭 太	元 郷	20		3位	駒 崎 蘭	戸 塚	45		
2	交 差 と び (1・2・3年生)	B	1位	池 田 圭 太	元 郷	16	B	1位					
			2位	河 内 颯 心	朝日東	7		2位					
			3位	江 幡 健 治	朝日東	4		3位					
3	二 重 と び (1・2・3年生)	口	1位	小 林 空 夢	朝日東	100	口	1位	荻 原 遥 真	戸 塚	12		
			2位					2位					
			3位					3位					
4	あ や と び (4・5・6年生)	ツ	1位	近 藤 葵	芝樋ノ爪	193	ツ	1位	戸 丸 偉 煌	戸塚北	46		
			2位	小 林 歩 輝	朝日東	120		2位	塩 澤 楓	戸 塚	35		
			3位	荘 司 遥 生	元 郷	81		3位	上 田 璃 来	戸塚北	20		
5	交 差 と び (4・5・6年生)	ク	1位	竹 内 海 翔	原 町	109	ク	1位	大 谷 楓 雅	戸 塚	5		
			2位	五 十 嵐 祥 太	戸塚綾瀬	32		2位	山 野 井 優 杜	桜 町	3		
			3位	沼 田 健 勇 郎	芝樋ノ爪	20		3位					
6	二 重 と び (4・5・6年生)	1位	近 藤 葵	芝樋ノ爪	94	ク	1位	戸 丸 偉 煌				戸塚北	31
		2位	藤 沼 駿 太	戸塚綾瀬	54		2位	塩 澤 楓				戸 塚	19
		3位	小 林 翔 吾	朝日東	40		3位	太 田 カンナ	桜 町	16			
1	あ や と び (1・2・3年生)	B	1位		幸 町	21	D	1位	寺 田 来 晃	中 居	54		
			2位	大 澤 柊 太	新郷南	4		2位	野 尻 竜 生	木曾呂	42		
			2位	高 橋 慎 一	芝富士	4		3位	會 川 沙 羅	中 居	14		
2	交 差 と び (1・2・3年生)	B	1位	鈴 木 ち ひ ろ	芝富士	1	B	1位	伊 藤 涼 空	柳 崎	3		
			2位					2位	藤 河 結 愛	柳 崎	1		
			3位					3位	長 島 之 乃	柳 崎	1		
3	二 重 と び (1・2・3年生)	口	1位	大 澤 柊 太	新郷南	1	口	1位	野 尻 竜 生	木曾呂	13		
			2位					2位					
			3位					3位					
4	あ や と び (4・5・6年生)	ツ	1位		幸 町	168	ツ	1位		中 居	68		
			2位	内 田 巧 斗	里	125		2位	青 木 佑 介	上青木	57		
			3位	三 谷 昂 輝	新郷南	40		3位	香 川 誠 一 郎	上青木	55		
5	交 差 と び (4・5・6年生)	ク	1位	内 田 巧 斗	里	113	ク	1位		中 居	58		
			2位	山 田 梨 紗	幸 町	57		2位	野 尻 久 翔	上青木	38		
			3位	三 谷 昂 輝	新郷南	21		3位	下 郡 大 和	上青木	36		
6	二 重 と び (4・5・6年生)	ク	1位	松 本 武 尊	東本郷	67	ク	1位	青 木 佑 介	上青木	102		
			2位		幸 町	48		2位	下 村 琉 翔	上青木	20		
			3位	菅 野 飛 雄 馬	東本郷	21		3位	荒 谷 和 希	上青木	10		

※氏名掲載を望まない児童については、学校名、記録のみの掲載としております。